

たかやしきかぐら

# 高屋敷神楽

高屋敷神楽は小鳥谷村を霞（縄張り）としていた三明院から始まったと言われています。小鳥谷村上女鹿沢の三明院は山伏の修験堂で、山伏は地域の杜に付随する行事を執り行い住民の病氣、怪我などの災いを呪術により追い払うなど地域住民の生活と深く結びついていきました。

神楽は山伏の大事な仕事一つでしたが、江戸時代の終わり頃になると山伏の力は衰え初め、12人必要といわれる神楽の一座を率いることが出来なくなり、山伏は周辺の村人に神楽を教え、一般の人たちによって行われるようになりました。

明治時代になり政府が神仏混淆を禁止すると、神仏両方の力を持つ山伏は神職か僧侶になることに追われ、このとき多くの山伏は神職を選択しています。中には山伏を続けた者もありますが、その勢いは急激に衰えてしまいました。

上女鹿沢「三明院」も神楽を主催する力がなくなり、三明院に近い高屋敷の村人に伝えられたと考えられています。これが高屋敷神楽の始まりで、三明院発祥の神楽は更に周辺の村々に広められました。

一戸町小鳥谷高屋敷、約35戸の集落で会員は20名で、小中学生への伝承活動にも力を入れています。

平成24年 一戸の山伏神楽 岩手県指定無形民俗文化財登録  
令和6年11月 全国民俗芸能大会出演

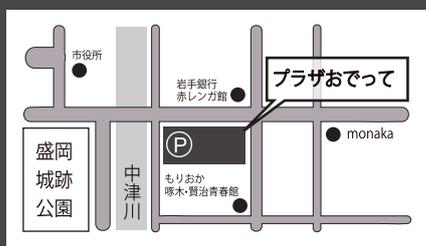


プラザおでっでは25周年を迎えました！

プラザおでっ

〒020-0871  
盛岡市中ノ橋通一丁目1-10

【休館日】  
・毎月第2火曜日  
・年末年始



イベントの最新情報はこちらから！



HP



X(旧:Twitter)



Facebook